



今回は、11月7日に行われた「熊谷市教育委員会委嘱研究発表」での道徳公開授業の様子をお伝えします。発表してくれたのは、1年1組、2年3組、3年1組でした。他クラスでもすでに同様の題材で授業を行っています。生徒の皆さんもその時の自分の意見と照らし合わせながら読んでみてください。

## 第1学年 題材『吾一と京造』（学研）



【ねらい】 真の友情を理解し、互いに相手を思いやり、共に向上しようとする心情を養う。

【概要】 吾一の家近くの子供たちは京造の所へ集まって登校していた。いつも登校を共にしている秋太郎が遅刻をしたことにより、吾一ははじめ京造の意見も正しいと思いき入るが、8時が過ぎ、さらに迎えに行こうといわれたことで、1人で学校へ行ってしまう。後に、京造が1人で迎えに行ったことを知る。また、教室で先生に何を言われても黙り、本当のことを言わない京造の姿をみて、自分のした行動が果たして本当に正しかったのかどうか、揺れ動く吾一の様子が描かれている。

【今日の学習を通して気づいたことや、これからの生き方について考えよう】

- 吾一は態度で友情があったと分かったし、京造は言葉で友情があって人それぞれ友情の伝わり方に違いはあるけど、優しい気持ちは持っていると感じた。私なりの友情が友達に伝わるように、優しい心を持って友達と仲良くしていきたい。
- 今日の「吾一と京造」で、友情は友情でも色々な形の友情がある事が分かりました。言葉などで、友情が伝わってこなくても、よく考えれば、それぞれの人への優しさがあるんだな。と思いました。これからは、言葉や行動で友情が伝わらなくても、よく考えてみたいです。
- この学習で、吾一・京造2人の友情の形は違ったけれど、吾一の自分のことを考えながらの友情と、自分より相手のことを考える友情が両方大切だと思いました。僕も、相手のことを考えた行動で自分が良くない方向へ向かうようなことをなくしたいと思いました。
- 今回の授業で思ったことは、やっぱり友達は大切にすることです。友達のことを思ってあげたり、分かってくれたりすることで、友情が深まったりすると思うから、吾一と京造も、考えや行動は違ったけど、友達を大切にしている所は同じなので、二人の良いところは、しっかり見習いたい。
- 僕は、吾一によく似ていると思います。いつも本当の気持ちを出すのは恥ずかしいと思ったり、あの時こうしていれば良かったなと思うことがたくさんありました。でも、これからは、京造のように規則を破るのでは嫌なので、自分なりに規則を破らないように、友達を大切にしていきたいと思います。



## 第2学年 題材『張君の笑顔』（学研）

【ねらい】 相手の心情に関心を持ち、積極的に関わっていくことで、思いやりを持ってより良い人間関係を築こうとす

る心を育てる。

【概要】 転入生の張に対して、自分は無関心だったのに和樹が優しい声をかけて仲良くなっている様子を見て、孝文は自分に相手を1人の人間として認め、向き合おうとする気持ちがなかったことに気づく。そして、人との接し方を次第に考えていくようになる。

【思いやりを持って人と接するには、どのように心がければいいだろう。】

- 何事にも相手の気持ちになって考えてみる。●相手の良い所を見つけながら話す。
- 悪口などの相手の事を陰で言うのは止めて、言いたいことがあるなら相手のことを考えて直接、本人に言う。
- 自分自身も笑顔で！！●優しく声をかける。●笑わせる。●怒らない。●気を配る。●「ありがとう」「ごめんなさい」をしっかり言う。●怖がらずに勇気を持って話しかける！●丁寧に話す。●自分も笑顔で楽しく話す。
- 相手のことを理解してあげようとする。●興味を持って接する。●自分が相手にされて嬉しいことを相手にもする。
- 自分と無関係と思わないで、向き合ってみる。●相手も自分と同じで嫌だったり嬉しかったりする。



### 第3学年 題材『どうして?』(学研)

【ねらい】 互いの違いを認め、謙虚に学び合う態度を育てる。

【概要】 自分の一方的な見方・考え方で村上君の作品を批判し、周りの友達にも言い回っていた裕美は、村上君の言葉に衝撃を受ける。そして次第に、自分と異なる意見を認め、高め合うことについて考えるようになる。

【異なる意見を尊重しつつ、自分も成長していくにはどうすればいいだろう】

- お互いの意見や考えを認めることが大切だと思いました。また、相手の意見が自分の意見と異なる所もあるかも知れないけれど、最初から否定していくのは良くないことだと思いました。自分の考えを積極的に発表することが大切だと思いました。
- 自分とは違う意見が出たとしても、「こういう意見もあるな」と少しずつ受け入れていけば、自分が少しずつでも成長していくと思います。また、その意見に対して、色々な感情が出てくるかもしれないけれど、それを飲み込むのも大事だと思う。
- 相手の意見の良い所と自分の意見の良い所を、客観的に見ること、そして、良かった部分を認めることが大切だと思います。また、相手の意見の「良いな」と思ったところは素直に褒めること、頭ごなしに否定しないことも大切だと思います。
- 相手と自分の意見の違いをよく理解し、批判的に見るのではなく、自分にはなかった新しい考えとして受け入れる姿勢をもつことが大事で自分の意見ばかりを主張するのではなく、色々な考えをもってみようと思うことが大事だと思う。
- 私は、異なる点で認めていくには、相手の悪い所をたくさん見つけていくのではなく、たくさんの良い所を見つけていくのが必要だと思いました。自分では気づかない良い点もあると思うので、そのようなことを理解して、友達の作品を觀賞したいです。
- 自分の意見や考えなどに囚われ過ぎずに、自分と異なる意見や自分にはなかった考え方を受け入れていくことによって、より自分自身やお互いにも成長していくことができると思う。